

経営計画書

2024.4- START!!

選ばれる法人をめざして



目次

正友会の5つの宣言 ……1

1.法人としての重点項目 ……2 …… 満濃荘 ……5

仲南荘 ……7

2.各拠点の事業と方針 ……4

やすらぎ荘 ……9

3.その他事業 ……14

よりあい ……11

おひいさん ……12

4.委員会体制 ……17

法人本部 ……13

中期経営計画 ……19

2022.4-2025.3

長期経営計画 ……21

2022.4-2032.3

私たちについて ……22

(基本方針)

正友会 5つの宣言

ノリフティングケア 宣言

ご利用者と職員双方にとって良いケアを常に追求めます。

身体拘束廃止 宣言

どのような状況にあってもご利用者の尊厳を守ります。

労働災害ゼロ 宣言

職場は安全で衛生管理が行き届いた環境にします。

健康で働ける職場 宣言

それぞれの個性を理解し、悩みや障害があってもお互いに支え合います。

ワークライフマネジメント 応援宣言

自分の人生が豊かなものとなるように応援します。

2024年度事業計画

1.法人としての重点項目

【基本的なサービスの徹底と信頼づくり】

- ・ご利用者・ご家族の想いに寄り添ったケアを行っていきます。
- ・ノーリフティングケアを習慣化し、ご利用者と職員双方が安全で安心して生活できるやさしい介護を行います。

【健康と機能維持に向けた関わり】

- ・嘱託医及び多職種が協働しながら異常の早期発見・早期対応を行い、ご利用者の健康を維持します。
- ・ご利用者の「できること」を把握し、少しでも長く日々の生活が快適に過ごせるようにします。
- ・感染症を持ち込まないための日々の予防対策を徹底し、感染症が入ってきたとしても広げないために迅速に対応します。

【適切な相談支援】

- ・相談を受け付けた際に正確な情報を伝えることができるよう、社会や制度の変化を敏感に捉え情報収集を行います。
- ・ご利用者、ご家族を含めた多職種と連携しながら法人の資源を有効に活用し、必要とされるサービスにつながるよう調整します。

【積極的な地域社会との交流】

- ・ 様々な地域活動に積極的に参加しながら、私たちが働く地域社会と顔が見える関係を築いていきます。
- ・ 地域活動を通じて近隣地域の情報を得てニーズの把握を行い、私たちができることを考えて実行します。
- ・ 福祉の魅力を伝えられるような取り組みを小学校や中学校に私たちから実行します。

【食生活の充実】

- ・ ご利用者の咀嚼・嚥下状態に合った食べやすい食事が提供できるよう、協力会社と調理方法の見直し等、話し合いを進めていきます。
- ・ 食事を美味しく召し上がっていただけるような対応や空間作りについて、多職種と話し合う機会を持ちます。

【職員の育成と働きやすい職場環境】

- ・ ご利用者の対応や介助方法、業務の課題など、日常の様々な場面を職員一人ひとりが学びの場としてとらえ、対話を重ねて成長につなげます。
- ・ 相手の気持ちを考えた行動をとります。そして、誰もが支え合える関係性を作り、働きやすい職場環境にします。

2.各拠点の事業と方針

事業一覧	満濃荘	仲南荘	やすらぎ荘	よりあい	おひいさん
所在地	まんのう町長尾1102	まんのう町帆山505	まんのう町川東1502-1	まんのう町東高篠285-1	善通寺市生野町1308-3
事業開始年月日	昭和52年4月25日開設	平成10年3月1日開設	平成4年5月1日運営受託	平成19年8月1日開設	平成26年7月1日開設
併設施設 実施事業	満濃荘老人デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｽﾞﾝﾀｰ 満濃荘老人介護支援センター	仲南荘老人デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｽﾞﾝﾀｰ 仲南荘老人介護支援センター	やすらぎ荘老人デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｽﾞﾝﾀｰ やすらぎ荘ケアﾌﾟﾗﾝｽﾞﾝﾀｰ 琴南高齢者生活福祉センター 琴南高齢者ふれあいランド	デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｽﾞﾝﾀｰよりあい ※休止中	
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	定員80名	定員50名	定員30名		
短期入所生活介護事業 (ショートステイ) [介護予防あり]	定員55名	定員20名	定員6名	※空床利用型(定員2名)	
通所介護事業 (デイサービス) [介護予防あり]	定員30名/土・日曜20名	定員25名/土・日曜20名	定員15名(月～金曜)	定員10名(月～金曜)	定員10名(月～金曜)
居宅介護支援事業 (ケアプラン) [介護予防支援等受託可]	支援専門員4名		支援専門員2名		
認知症対応型共同生活介護事業 (グループホーム) [介護予防あり]				定員18名(2ユニット)	
委託事業	生きがい活動支援通所事業 [まんのう町]	生きがい活動支援通所事業 [まんのう町・琴平町]	生きがい活動支援通所事業 [まんのう町]		
	給食サービス事業 [まんのう町]		高齢者生活福祉センター事業 [まんのう町]		
	緊急通報体制整備事業 [まんのう町・琴平町]				
	家族介護者交流事業 [まんのう町]				
その他の事業	老人介護支援センター事業 おもいやりネットワーク事業	老人介護支援センター事業 おもいやりネットワーク事業	ふれあいランド友の会		

【特別養護老人ホーム満濃荘】（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業）

- ・ご利用者やご家族とのコミュニケーションの中で想いや意向をしっかりと聴き、安心して生活が送れるように支援します。
- ・ノーリフティングケアの実践を通して無理のない安全な介護をすすめます。
- ・ご利用者が心身ともに穏やかに過ごして頂けるよう、日々の体調変化に気付き早期対応できるよう取り組みます。
- ・感染予防対策を徹底し、感染症が発生したとしても拡大しないようにします。
- ・介護を必要とされている方々が必要な時に安心してサービスをご利用頂ける様、関係者と情報を共有しながら、利用に繋がっていきます。
- ・感染状況を考慮しながら、地域に出向き地域福祉を担う一員として福祉の魅力や情報を幅広く発信していきます。

【満濃荘老人デイサービスセンター】（通所介護事業）

- ・安心してご利用頂けるようコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築いていきます。
- ・ご家族、ケアマネジャーとの連携を密にし、意向に沿ったサービスが提供できるようチーム全体で取り組んでいきます。

【満濃荘老人介護支援センター】（居宅介護支援事業）

- ・地域に対し役割を果たせるよう、一つ一つのケースに丁寧に向き合い在宅生活を支えます。
- ・専門知識や技術を高めるため、自己研鑽に励みます。
- ・法人内の2ヶ所の居宅介護支援事業所が連携し、地域情報の共有や業務課題の検討を通じて、基本業務や運営体制の充実を図ります。

年間行事予定	満濃荘全体	特養・短期	デイ	生きがい
4月		お花見観賞	お花見	桜観賞
5月	地区井手ざらい 火災避難訓練(夜間想定)	芋の植え付け 春の鮎焼き	端午の節句	外出(買い物)
6月	参集・伝達訓練(BCP)	梅雨外出	家族会	作品作り
7月	土器川一斉清掃	七夕飾り ひまわり外出	七夕	ひまわり観賞
8月			夏祭り	お楽しみ会
9月		芋ほり	敬老会	作品作り
10月	机上型訓練(BCP)	秋のさんま焼き	運動会	ミニ運動会
11月	シェイクアウト 安否確認訓練(BCP)	物故者法要 紅葉外出	文化祭	外出(買い物)
12月	火災避難訓練(日中想定) 四條公民館防災教室	クリスマス 餅つき	クリスマス	クリスマス会
1月		年賀 鏡開き	正月遊び	初詣
2月		節分豆まき	節分	節分
3月		ひなまつり	ひなまつり	ひなまつり

※施設月例行事 ・まんのう図書借り入れ(毎月入れ替え)
 ※デイ月例行事 ・紙芝居(毎月) ・手作りおやつ(2ヶ月に1回)

【特別養護老人ホーム仲南荘】（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業）

- ・「つながる」をテーマに人と人との関わりを大切にしている取り組みを進めます。

職員同士は互いに声をかけ、協力し合える関係をより強くします。

ご利用者へは日々の声掛けを大切にしていこうことや、生活の中で楽しみを持てるような機会を増やします。

ご家族・ケアマネジャーへは日々の連絡を小まめにお伝えすることや、家族会を開催して関わりを深くします。

ボランティアへは事前の打ち合わせを丁寧に行い、施設へ来ていただける機会を増やします。

近隣地域へは小学校での立哨活動や地元自治会などを通じて気軽に話ができる関係づくりをすすめます。

- ・「整理整頓」を進めることでご利用者への直接的ケアの時間をより多く創り出す取り組みを進めます。

記録電子化をより一層進めることで情報の整理を行い、生産性を高めます。

業務を細かに切り分けて日々の仕事の整理を進め、効率的にそれぞれが役割を果たせるようにします。

モノの置く位置を定め、有事の際にも慌てず対応できるようにします。

【仲南荘老人デイサービスセンター】（通所介護事業）

- ・ご利用者との対話を大切に、信頼関係を築きます。信頼できる関わり方が行われているか常に見直していきます。
- ・ご利用者の意向や身体状況に沿ったレクリエーションや運動を提供・充実させていきます。
- ・デイサービスに関わる方々が“利用してよかった”と満足できるよう事業に取り組んでいきます。

年間行事予定	仲南荘全体	特養・短期	デイ	生きがい
4月		お花見	お花見	体力測定
5月		炭火焼の日	炭火焼の日 手洗い講習 家族会	つつじ観賞
6月	地域の清掃活動 ひまわりの家	あじさい観賞 家族会	グラウンドゴルフ大会	栄養教室(食中毒)
7月	夏まつり	ひまわり観賞	七夕	ひまわり観賞
8月	ひまわりの家 BCP机上型訓練	浴衣茶会	夏祭り	健康教室(熱中症)
9月	地域との自然災害訓練 地域の神社清掃	敬老会	敬老お祝いの会	おやつ作り
10月	ひまわりの家	炭火焼の日	炭火焼の日 運動ゲーム大会	運動ゲーム
11月	BCP初動対応訓練 シェイクアウト	お楽しみ会	文化祭作品展示	紅葉観賞
12月	火災避難訓練(夜間想定) ひまわりの家	クリスマス会	クリスマス会	クリスマスケーキ作り
1月	新年挨拶	初釜茶会	初笑い会	初詣外出 ぜんざい作り
2月	ひまわりの家	節分	節分	リズム体操
3月	火災避難訓練(日中想定)	ひなまつり・花見茶会	ひなまつり	お花見

※月例行事

・音楽療法(第1・3土曜日)
・手作りおやつ(月1回)

・花生けクラブ(毎週木曜日)

・外出支援(月1回) ・まんのう図書借り入れ(毎月入れ替え)

【特別養護老人ホームやすらぎ荘】（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業）

- ・介護サービスを必要とされている方がスムーズにご利用いただけるよう、関係機関に伝えながらベッドを有効活用していきます。
- ・ノーリフトケア、排泄ケアの技術向上と活用をさらに進め職員個々が自身の成長を感じられるように現場でのOJTや会議の中で確認しながら進めていきます。また、多職種が連携しながら栄養、医療面からも協働しご利用者の快適な生活へ繋げていきます。
- ・地域の中で何ができるかを考えながら地域の一員として出来ることを実践していきます。

【やすらぎ荘老人デイサービスセンター】（通所介護事業）

- ・地域の価値観を理解し、各々のご利用者との距離感を意識して、意向に沿い在宅生活に役立てる支援をします。

【やすらぎ荘ケアプランセンター】（居宅介護支援事業）

- ・山間地に暮らす生活の課題（限られた社会資源・ライフラインの脆弱）に向き合い、ご利用者がその人らしく暮らし続けていけるよう支えていきます。
- ・一つ一つのケースに丁寧に向き合い、また、研修会にも積極的に参加し自己研鑽に励みます。

年間行事予定	やすらぎ荘全体	特養・短期	デイ	生きがい
4月		お花見 お花見ドライブ	お花見	
5月	野外での鮎焼き 地域清掃		夏野菜植え付け	
6月	土砂災害訓練		夏野菜収穫	
7月	地震BCP机上訓練	七夕かざり	七夕	
8月	夏祭り	ひまわり観賞ドライブ		
9月	火災訓練 地域清掃		敬老会 冬野菜植え付け	
10月	野外でのさんま焼き 感染症BCP机上訓練		運動会	
11月	シェイクアウト 琴南地区文化祭出展	紅葉ドライブ	文化祭 冬野菜収穫	
12月	クリスマス会		クリスマス会 防災訓練 餅つき	
1月	鏡開き			初詣
2月	節分豆まき		節分豆まき	
3月	火災訓練 地域清掃 ひなまつりお茶会		ひなまつり	

- ※施設月例行事 ・西内花月堂訪問販売（第2火曜日）・訪問散髪（第1・3木曜日）・手作りおやつ（月1回）・喫茶（月2回）
 ・まんのう図書借り入れ(毎月入れ替え)
 ※デイ月例行事 ・法話(第1金曜日) ・誕生日お祝い(毎月)
 ※生きがい月例行事 ・買い物外出(月1回)

【グループホームよりあい】（共同生活介護事業）

- ・その方が有する能力を、グループホームで自分らしく発揮できるように、医師やご家族との情報交換の中で取り組んでいきます。
- ・ご利用者満足だけでなく職員満足にも取り組み、日々のケアに活かせるようチームワークや相談など、個々の成長につながる取り組みを実践します。
- ・地域運営推進会議では、日々の生活の様子だけでなく、委員の皆様より外部評価を受審することで、日々の改善に取り組めます。

年間行事予定	よりあい全体	グループホーム	
4月		お花見	春野菜の収穫
5月	地域の用水路清掃 運営推進会議	端午の節句	夏野菜の植え付け
6月	火災避難訓練	あじさい観賞	さつま芋の植え付け
7月	運営推進会議(外部評価)	七夕夏祭り	ひまわりドライブ
8月	風水害訓練	夏野菜の収穫	
9月	運営推進会議(外部評価)	家族懇談会	敬老の日 お茶会
10月		芋掘り	冬野菜の植え付け
11月	シェイクアウト訓練	高篠公民館祭り参加	
12月	火災避難訓練	クリスマス会	冬野菜の収穫
1月	運営推進会議	初詣	
2月		節分豆まき	
3月	運営推進会議	ひなまつり	家族懇談会

※月例行事

- ・季節の作品作り
- ・生け花
- ・季節の手作りおやつ
- ・かりんの郷運営推進会議参加(2か月に1回)
- ・まんのう図書借り入れ(毎月入れ替え)
- ・おばあちゃんのご飯(毎月最終金曜日)ご利用者を主にした調理

【デイサービスセンターおひいさん】(通所介護事業)

- ・ご利用者の「できること」「やりたいこと」を中心に、「楽しい」と思っただけのサービスを提供します。
- ・積極的に地域の資源を活用し、地域の中に存在することを意識して情報発信や関係構築を行います。

年間行事予定	おひいさん全体	デイ
4月		春のBBQ
5月	風水害訓練	夏野菜の植え付け
6月		夏野菜の世話・収穫
7月		七夕 夏野菜の世話・収穫
8月	火災避難訓練	盆団子作り
9月	運営推進会議(上期)	敬老会会食
10月		秋の味覚を楽しむ会 野菜の植え付け
11月	地震訓練	春のお花の植え付け
12月		クリスマス会 忘年会
1月		初詣 鏡開き
2月	火災避難訓練	節分
3月	防災訓練(大規模地震) 運営推進会議(下期)	ひなまつり

※季節の作品作り、季節の手作りおやつ

※NPO法人子育てネットくすくす すまいるの子供たちとの交流

【法人本部】

- ・意識的に対話の量と質を上げ、互いに気づきがもてるようなアプローチを増やします。
- ・タイムリーに・わかりやすく・細やかに各拠点と職員をサポートします。
- ・基本的な事務処理手順に基づいて、日常業務をすすめ、各拠点と本部の実務の精度を高めます。
- ・法人内外の情報収集と共有により、組織として迅速な意思決定を行えるよう、更なる体制強化を進めます。

年間行事予定	法人	地域行事
4月	入職式 人事考課面接	
5月	会計検査 監事監査 理事会	
6月	評議員会 第三者委員会	
7月		土器川一斉清掃 図書館福祉講座
8月	理事会	まんのう社協サマースクール
9月	職員健康診断	JAふれあい祭り 高篠地区防災介護教室
10月	定期人事異動 人事考課面接	
11月	内定式 会計検査 第三者委員会	
12月	理事会	
1月		四條公民館防災教室
2月		
3月	理事会 評議員会 定期人事異動	

※まんまんカフェおよりさん(認知症カフェ)…毎月高篠公民館を会場として平日に開催。

3.その他事業

【老人介護支援センター事業】 (満濃荘・仲南荘)

高齢者に関するご相談をお受けし、困りごとへの解決策を一緒に考えながら、必要な支援につながるようお手伝いします。

【緊急通報体制事業】 (満濃荘)

通報受信対応を行い、気になったことは行政と共有し、状態確認やスムーズな対応を行っていきます。

【家族介護者交流事業】 (満濃荘)

在宅介護者の方がひと息つけ、安心できる機会となるように、関係各所と相談を行いながら企画していきます。

【給食サービス事業】 (満濃荘)

栄養面に配慮した食事を提供するとともに、ご利用者の普段と違う様子など気付いたことがあれば行政に報告します。

【生きがい活動支援通所事業】 (満濃荘・仲南荘・やすらぎ荘)

交流や活動が楽しめる社会参加の場を提供することで、ご利用者が生きがいを感じ、自立した生活への活力を得られるよう支援します。

【おもいやりネットワーク事業】 (満濃荘・仲南荘)

- ・地域の他機関と協力して、生活に困っている方のために、自分たちができることを実施していきます。
- ・地域のニーズを拾いやすくなるように、協力してくれる方々を増やし、様々な視点で地域の課題を検討していきます。

【ふれあいランド友の会事業】 (やすらぎ荘)

- ・外出手段が無い方の受診の送迎を行い、診療所や調剤薬局と連携し健康に暮らして頂けるよう支援します。
- ・会食形式の昼食を通じて交流して頂きます。

【琴南高齢者生活福祉センター事業】 (やすらぎ荘)

- ・朝・夕の安否確認や緊急時のコール対応を行います。非常時にはご家族や関係機関等と情報共有し、入居者の生活を支援します。
- ・環境整備、設備点検、防災訓練、買い物支援等を行い生活環境を整えます。
- ・まんのう町や関係機関等と連携し、必要な方が入居できるよう支援します。

【認知症カフェ事業】 (本部事務局)

認知症の方の交流、家族介護者の情報交換や負担軽減と、地域の方にも一緒に集える憩いの場を目的に、地域全体で認知症の対応を深めます。また、参加する職員の専門性を活かし、「認知症になっても安心して暮らせる地域社会のネットワークづくり」を目指します。

【留学生奨学金貸与事業】 (満濃荘)(公益事業)

正職員として従事する外国人が、日本語と介護の知識と技術を身につけ、経験を深めていけるようサポートします。

【太陽光発電売電事業】 (満濃荘)(収益事業)

太陽光の発電売電を継続し、収益を社会福祉事業の推進に充てていきます。

4.委員会体制 【各拠点】

委員会名称	内容
安全対策委員会	事故防止に関すること
労働安全衛生委員会	職員の労働安全に関すること
身体拘束廃止・虐待防止委員会	身体拘束廃止と虐待防止に関すること
感染予防対策委員会	感染予防に関すること
安全委員会	喀痰吸引に関すること
危機管理・防災対策委員会	BCP(事業継続計画)に関すること

委員会名称	内容
研修委員会	職員の研修に関すること
ケア向上委員会	ポジショニング、認知症、排泄、褥瘡、ご意見対応を含むケア全般に関すること
給食委員会	ご利用者の食事に関すること
地域福祉委員会	地域交流行事に関すること
広報委員会	広報誌、ホームページ、SNSに関すること

拠点の規模・事業の種別により、委員会等の組織体制は異なります。

各拠点の事業・委員会



法人担当者会

- ・ 介護課長会
- ・ 看護担当者会
- ・ 生活相談員会
- ・ 栄養士会
- ・ 通所担当者会
- ・ 居宅介護支援担当者会



法人プロジェクトチーム

- ・ 未来の職員応援チーム
- ・ みんなのサポート体制導入チーム
- ・ 研修改革チーム
- ・ おむつフィッターチーム
- ・ 広報活動チーム
- ・ 記録電子化チーム
- ・ 経営戦略チーム
- ・ 中長期経営計画策定チーム



事業推進会議



経営幹部会

- ・ 理事会
- ・ 評議員会
- ・ 第三者委員会

中期経営計画 *Open up the future 2022~2024*

目標	方法	担当
職員全体に正友会の理念が浸透し、自分たちの日々の行動を見直すことができるようにします。	手帳の見直し	フィロソフィチーム 2023度終了
	人事考課シートの見直し	
	職員会の進め方を見直し	事業推進会議
新たな仲間にも正友会の考え方を伝え、お互いのことを理解できるようにして迎え入れます。	職業体験の義務付け	未来の職員応援チーム
	現在いる職員からの紹介制度の導入	本部事務局
職員がやりがいを持ちながら自分らしく働き続けられるように体制を整えます。一緒に働く仲間を互いに尊重し、補いあい、支え合うことで誰もが活躍できる職場環境にします。	入職後一定期間のルール化	未来の職員応援チーム
	採用者へのフォロー研修制度構築	
	2~5年目職員へのフォローシステムの導入	
	役割チャレンジ応援制度の導入	みんなのサポート体制導入チーム
正友会の一員として自信をもって仕事ができる職員を育成します。	OJTのルール化（OJT宣言）	研修改革チーム
	内部研修内容の見直し	
	テーマ別研修の実施	
ケアの基礎となる『こころ』を重点的に育成しながら、専門性も高めていきます。 また法人内でお互いの施設の現状を知りサービスの質の向上を図ります。	法人統一ホスピタリティマインド基本方針の作成 ※1	全担当者会 (介護・看護・相談員・栄養士・ 通所・居宅介護支援)
	認知症ケアのマニュアル標準化	
	法人内交流研修の実施	
	法人内での相互評価の実施	
	排泄ケアの向上	おむつフィッターチーム

<p>関わる全ての方々に身近な存在として感じていただくことで、相談され必要とされる法人を目指します。様々な場面での触れ合いを通して、親しみやすい印象を持っていただけるようにしていきます。</p>	<p>地元自治会との関係強化</p>	<p>地域活動プロモーションチーム</p> <p>2023度終了</p>
	<p>地域活動ユニフォームの作成と活用</p>	
	<p>法人グッズの作成と活用</p>	
<p>正友会を知って欲しいという想いを込めて、幅広くそして分かりやすく情報を発信します。</p>	<p>SNS情報発信ツールの充実</p>	<p>広報活動チーム</p>
	<p>ホームページアクセスへのQRコードの導入</p>	
	<p>公用車を使用しての広報活動</p>	<p>地域活動プロモーションチーム</p> <p>2023度終了</p>
	<p>幼児、小学生、中学生へのPR活動</p>	
<p>記録の標準化とスリム化を進めます。</p>	<p>介護・看護記録の電子化</p>	<p>記録電子化チーム</p>
	<p>法人共有データベースの構築</p>	<p>シェアシステムチーム</p> <p>2023度終了</p>
<p>正友会が地域にとって必要な存在であり続けることができるように、事業の進捗を確認しながら、各事業所の運営の強化や経営の安定化を図ります。</p>	<p>目標稼働率を意識した事業運営</p>	<p>経営戦略チーム</p>
	<p>地域密着型サービスの事業安定化</p>	
	<p>居宅介護支援事業所の運営体制強化</p>	<p>居宅介護支援担当者会・経営戦略チーム</p>

※1 ホスピタリティマインドとは

一般的にサービス業で使われている「おもてなし精神」や単なる接遇マナーとは異なる。

一方通行のものではなく、『人』と『人』との当たり前の関係をつくる。挨拶から始まり、相手が困っていたら助ける。また、相手が不安そうにしていたらそばに寄って話を聴くなど、相手のことを考えて行動に移せる思いやりの心。

長期経営計画
2022.4-2032.3

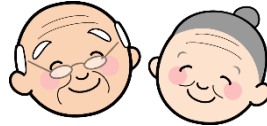
わたしたちは、地域の方に選んでいただける組織として、将来に向けてチャレンジを続けます。

正友会に関わるすべての人にとって大切な場所をつくります。

職員にとって **活躍** の場



ご利用者にとって **生活** の場



地域の方々にとって **信頼** の場



理念の共有と実現を目指し、10年先のありたい姿を描きます。

目標に向かって一歩ずつ楽しみながら前進しましょう。

**職員の成長と組織の発展により
地域社会を支えます。**

- ・福祉ニーズに柔軟に対応した事業運営
- ・外部機関との良好なパートナーシップ
- ・魅力ある職場の実現

ご利用者と職員の人生を大切にします。

- ・ご利用者にも職員にも優しい介護
- ・一日の流れがゆっくり感じられる介護
- ・安心して働くことができる職場

**地域社会とのつながりの中で
法人経営をすすめます。**

- ・どのような時も事業継続できる資源の確保と体制
- ・他法人や団体との協働
- ・地域のニーズにこたえ続ける事業展開

○法人訓



知愛一如 (ちあいいちによ)

知識と愛情の両方を備えて 人に接することを大切にしてほしい

○法人の理念

信頼関係を築きながら、提供するサービスが満足して頂けるよう、日々努力研鑽します。

社会福祉を地域と共に考え実践します。

○私たちの姿勢

人間には様々な顔があり、心があり、感情があり、一人ひとりの生活がある。

そしてまたその生活は日々変化する大きな環境のなかにある。

一人のあなたと共感できること

あなたが望む暮らしをささえること

その目的に向かって共に過ごし始めると、私はあなたに支えられていることを知ります。

法人理念

ご利用者の
安全と満足を
考えよう。

信頼関係を築きながら、提供するサービスが満足して頂けるよう、日々努力研鑽します。

身だしなみ、言葉づ
かい、態度に責任を
もとう。

社会福祉を地域と共に考え実践します。

目標を明確にし、
理解したうえで行
動し改善につなげ
よう。

仲間に感謝し、
意見を交わしなが
ら働こう。

地域のために
何が出来るかを
考え実践しよう。

私たちの役割を知り、
技能を高めよう。

これからも地域で必要とされる正友会であるために

今年の始まりは、能登半島地震と日航機衝突事故という衝撃的なニュースが2日連続で飛び込んできましたが、私の周りでは「いつもと同じ正月」でした。この「いつもと同じ」という現象は「当たり前のこと」でしょうか。蛇口をひねれば水が出て、電気のスイッチを押せば照明が点く。私たちは、これ以外にも社会を支えている様々なシステムの便利さを享受しています。もちろん、介護もそのひとつです。

その昔、人は山へ芝刈りに川へ洗濯に行っていました。生活に必要なことすべてを自分で賄っていました。文明の発展と共に自前でやっていたことを人に頼ることが生活環境の向上になりました。本来、自分ですることが「当たり前のこと」で、人にしてもらえることは「有り難いこと」なのです。このことに対する感謝の気持ちを向き合うすべての人に伝えることが信頼関係を作るうえで大事です。

改めて、わたしたちの日常はトイレに入ればペーパーがセットされていて、きれいに掃除ができています。廊下にはごみが落ちていないなど数え上げればきりが無い、沢山の「有り難いこと」に支えられています。

「さあ、今日も感謝の気持ちを忘れないで頑張りましょう！」

2024年3月

社会福祉法人 正友会

理事長 長谷川智一